

保育士試験 「保育実習理論」 過去問分析 出題予想 (傾向と対策)

(この科目については優秀なホームページがたくさんあるので、平成31年4月の問題を以下のように分析してみました。参考になれば幸いです)

平成31年4月 保育実習理論 (迷ったら組み合わせの多い解を中心に選択)

20問で12問を確実にとろう。→20問で8問間違えても大丈夫。

(得点度 A:確実に得点 B:迷う C:難しい。あまりテキストにもなく、出題も少ない)

総評

得点度A 6問

得点度B 2問

得点度C 7問

? 5問

※著作権の関係で?が5問あり全体像が見えにくい。確実に取れる問題が6問、迷う問題が2問ある。注意すべき点は今回の試験では得点度Cのものがすでに7問。得点度Bが2問と?を入れて6問の正解を得るとすると結構難関かも。やはり音楽で得点度Cも含めて音階の規則をつかんで得点しよう。

(受験体験記)

この評価を書いている私は3年くらい前、初めての受験で全科目中4科目合格した。その4科目のうちの1科目がこの保育実習理論だ。得点は60点だった。音楽のピアノの図が出てくるとそれだけで鉛筆を転がしたくなった。しかし、よく見ると図形とか事例とかは確実に得点できると思われるものがいくつかあって試験会場で12問の正解を確信し、その通りになった。今回の試験内容では?のところが多く、内容について詳しくは評価できないが、ピアノだけでなくギターや歌の得意な人もあるので、試験もそれなりに配慮されているのではないかと推察している。